

第 1 4 感染症対策

1 感染症発生状況

(1) 類別・市別発生状況

令和5年度

	合計	草津市	守山市	栗東市	野洲市
感染症発生合計	22	11	5	4	2
1 類感染症合計	-	-	-	-	-
エボラ出血熱・ペスト等	-	-	-	-	-
2 類感染症合計	16	7	4	4	1
急性灰白髄炎	-	-	-	-	-
結核	16	7	4	4	1
ジフテリア	-	-	-	-	-
S A R S	-	-	-	-	-
鳥インフルエンザ	-	-	-	-	-
3 類感染症合計	6	4	1	-	1
コレラ	-	-	-	-	-
細菌性赤痢	-	-	-	-	-
腸管出血性大腸菌感染症	6	4	1	-	1
腸チフス	-	-	-	-	-
パラチフス	-	-	-	-	-

(2) 発生時の対応(積極的疫学調査の実施)

令和5年度

	合計	草津市	守山市	栗東市	野洲市
感染症対応合計	30	14	6	6	4
1 類感染症合計	-	-	-	-	-
エボラ出血熱・ペスト等	-	-	-	-	-
2 類感染症合計	17	8	4	4	1
急性灰白髄炎	-	-	-	-	-
結核	17	8	4	4	1
ジフテリア	-	-	-	-	-
S A R S	-	-	-	-	-
鳥インフルエンザ	-	-	-	-	-
3 類感染症合計	6	4	1	-	1
コレラ	-	-	-	-	-
細菌性赤痢	-	-	-	-	-
腸管出血性大腸菌感染症	6	4	1	-	1
腸チフス	-	-	-	-	-
パラチフス	-	-	-	-	-
4 類感染症合計	6	2	-	2	2
日本脳炎	-	-	-	-	-
E 型肝炎	2	1	-	-	1
レジオネラ症	4	1	-	2	1
5 類感染症合計	1	-	1	-	-
麻しん	1	-	1	-	-
風しん	-	-	-	-	-

2 特定感染症対策

当所では、昭和62年度から毎週、HIV抗原抗体検査を開始しました。

平成5年度からは、検査時にカウンセラーを配置し、相談体制の強化をはかりました。

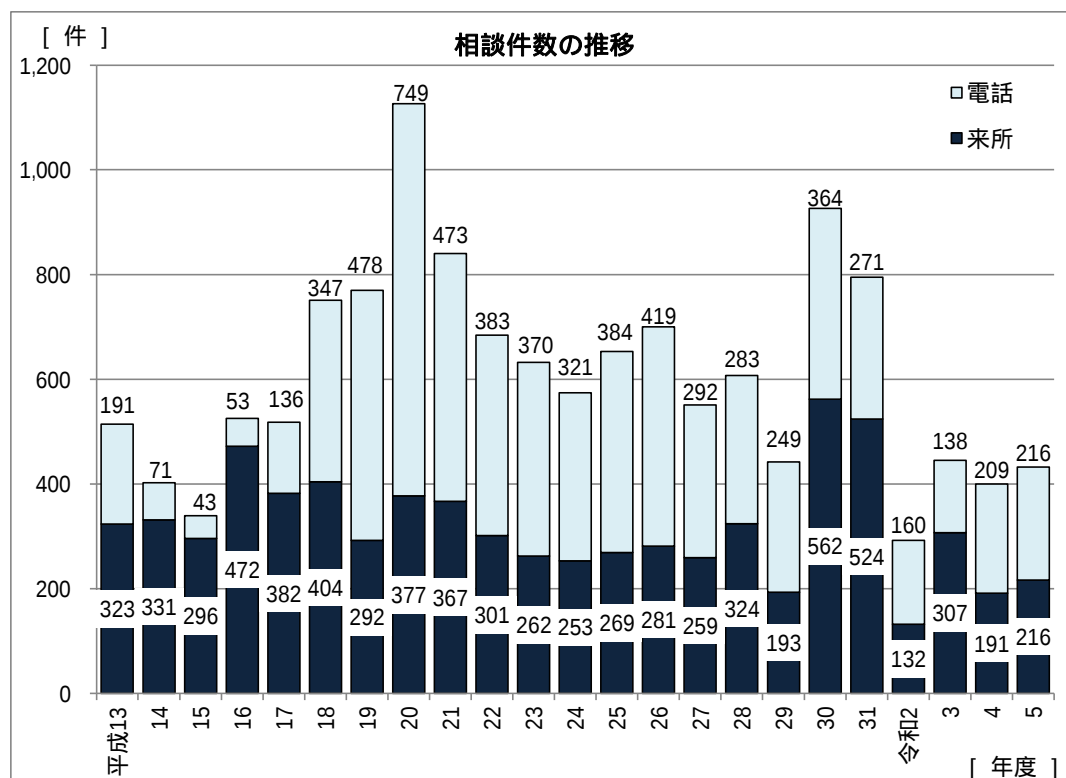
平成18年8月からは、HIV抗体検査、平成19年10月からは梅毒・肝炎ウイルス(B型・C型)の即日検査を導入し、毎月2回開催しています。

平成21年10月からは県下全保健所にて、即日検査が導入されています。

(1)エイズ予防対策

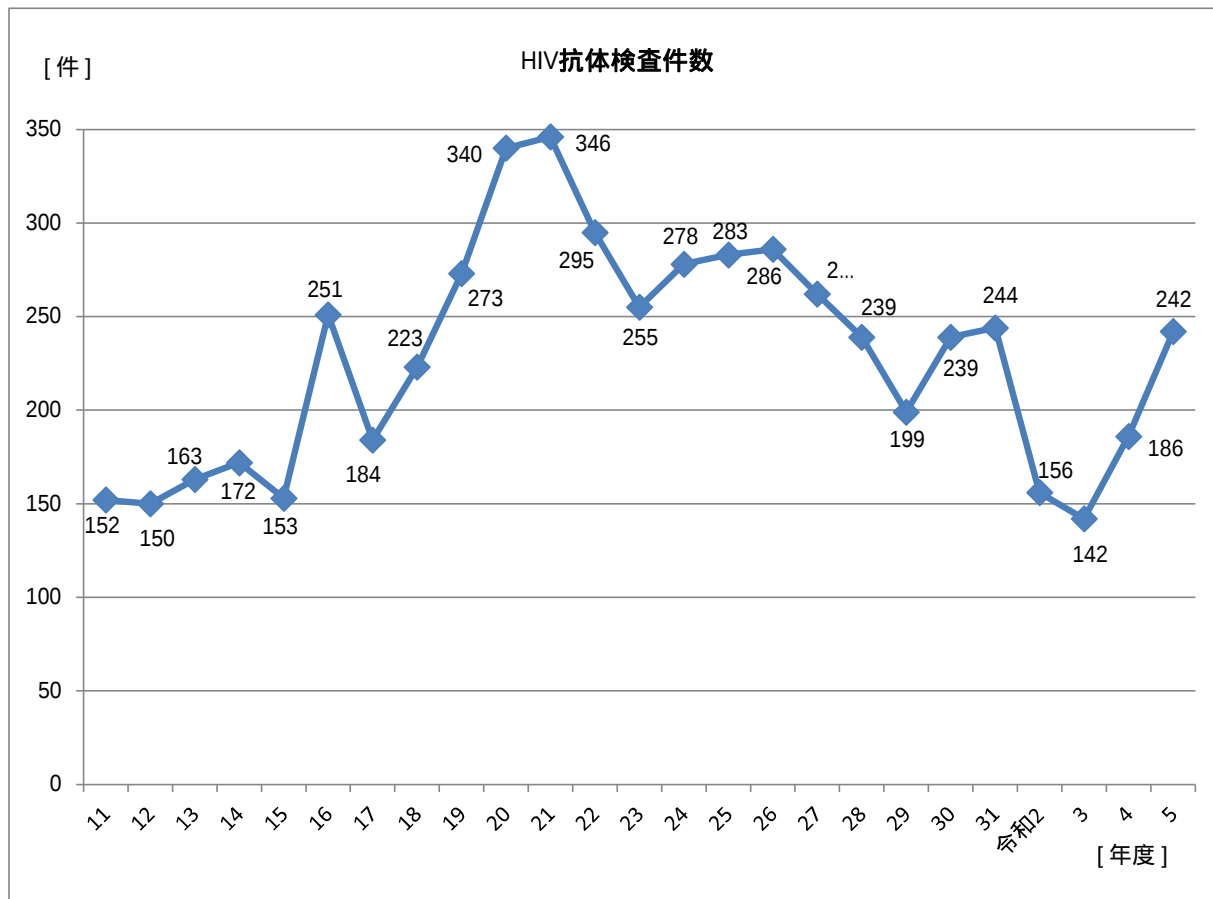
エイズ相談実施状況

区分	合 計	検 査 時		来 所	電 話
		検 査 前	検 査 後		
相談延人員	639	214	207	2	216
相談内容延件数	1,044	395	397	7	219
相談内容延件数	症 状	141	82	1	18
	検 査	466	202	2	192
	感 染 経 路	208	121	1	11
	予 防 方 法	194	12	1	9
	患 者 発 生 状 況	36	1	1	-
	そ の 他	30	8	1	15



エイズ抗体検査件数(男女別・年齢別)

年 齢	～ 1 9	2 0 ～ 2 9	3 0 ～ 3 9	4 0 ～ 4 9	5 0 ～	計
計	4	93	65	33	47	242



エイズ啓発活動

ア 啓発事業

・世界エイズデーにおける拡大検査

2023/6/14、2023/12/13

イ 研修会等

令和5年度は実施せず。

(2)梅毒検査

梅毒検査件数(男女別・年齢別)

年齢	～ 1 9	2 0 ～ 2 9	3 0 ～ 3 9	4 0 ～ 4 9	5 0 ～	計
計	4	93	65	33	47	242

(3)肝炎ウイルス検査

H C V抗体検査件数(男女別・年齢別)

年齢	～ 1 9	2 0 ～ 2 9	3 0 ～ 3 9	4 0 ～ 4 9	5 0 ～	計
計	4	90	66	32	47	239

H B s抗原検査件数(男女別・年齢別)

年齢	～ 1 9	2 0 ～ 2 9	3 0 ～ 3 9	4 0 ～ 4 9	5 0 ～	計
計	4	90	66	32	46	238

3 その他

(1) 肝炎治療特別促進事業(インターフェロンフリー・インターフェロン・核酸アナログ製剤治療助成制度)

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

申請等総数	新規・更新	延長申請	償還払い	変更・転入	再交付・返還	取下げ
241	45	185	8	1	2	0

(2) 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

申請等総数	新規	更新	返還
2	1	1	0

(3) 血液製剤(フィブリノゲン製剤)使用公表に伴う相談

相談内容の内訳

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

患者（元患者、C型肝炎患者等（身内含む））																医療機関			総数	
医療機関がリストに掲載されているか	過去に出産や手術等をしたが大丈夫か	投与の事実の確認、カルテの開示	（フィブリノゲン製剤の投与無し） 輸血を受けたが大丈夫か	肝炎検査は必要か。どこで受けられるか	肝炎検査の費用について	C型肝炎の症状は、治療方法は	肝炎の治療費、医療費助成	母子感染、家族間感染について	国の責任、補償措置（訴訟関係を含む）	フィブリノゲン製剤は何に使用されたか	（感染の原因を知りたい （フィブリノゲン製剤の投与以外）	その他	原告団、弁護団を知りたい	救済手続き・認定について	合計	患者への対応の仕方について	医療機関名の公表	その他		合計
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

厚生労働省を通じ平成19年10月に血液製剤の使用に関して再公表(平成16年12月に公表されたフィブリノゲン製剤投与に関するお知らせ)された。
平成20年4月から肝炎治療特別促進事業が開始され、助成制度に関する相談件数が増加した。

2 感染症対策

(1) 肝炎治療特別促進事業(インターフェロンフリー・インターフェロン・核酸アナログ製剤治療助成制度)

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

申請等総数	新規・更新	延長申請	償還払い	変更・転入	再交付・返還	取下げ
241	45	185	8	1	2	0

(2) 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

申請等総数	新規	更新	返還
2	1	1	0

3 特定感染症対策

当所では、昭和62年度から毎週、HIV抗原抗体検査を開始しました。

平成5年度からは、検査時にカウンセラーを配置し、相談体制の強化をはかりました。

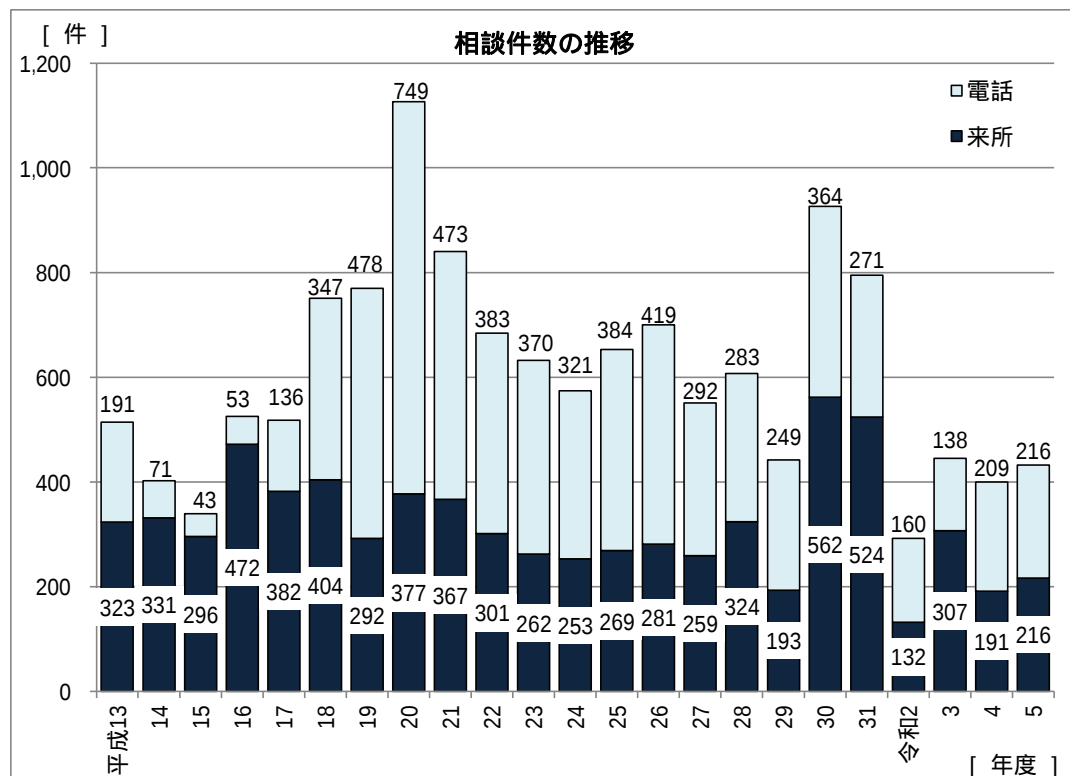
平成18年8月からは、HIV抗体検査、平成19年10月からは梅毒・肝炎ウイルス（B型・C型）の即日検査を導入し、毎月2回開催しています。

平成21年10月からは県下全保健所にて、即日検査が導入されています。

(1) エイズ予防対策

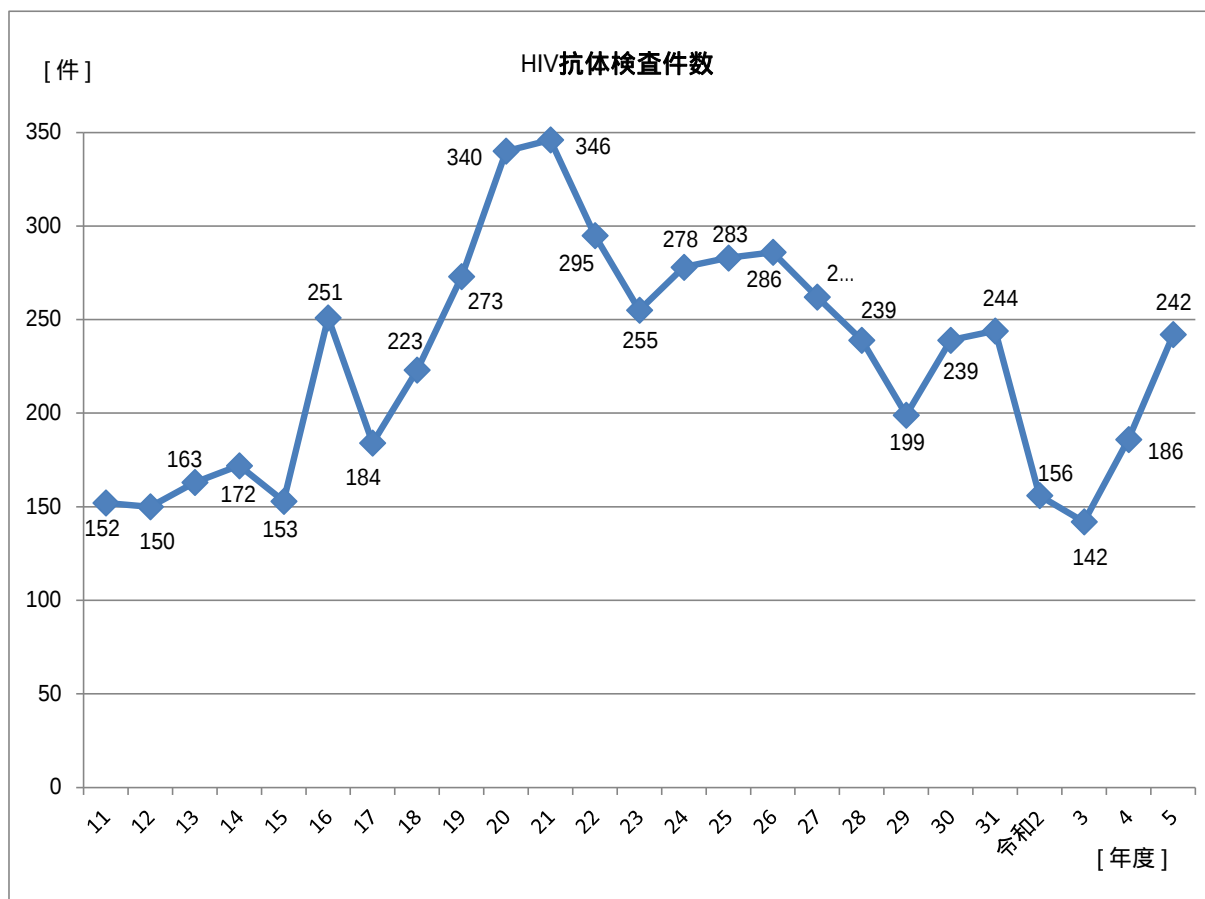
エイズ相談実施状況

区分	合 計	検 査 時		来 所	電 話
		検 査 前	検 査 後		
相談延人員	639	214	207	2	216
相談内容延件数	1,044	395	397	7	219
相談内容延件数	症 状	141	82	1	18
	検 査	466	202	2	192
	感 染 経 路	208	121	1	11
	予 防 方 法	194	12	1	9
	患 者 発 生 状 況	36	1	1	-
	そ の 他	30	8	1	15



エイズ抗体検査件数(男女別・年齢別)

年 齢	～ 1 9	2 0 ～ 2 9	3 0 ～ 3 9	4 0 ～ 4 9	5 0 ～	計
計	4	93	65	33	47	242



エイズ啓発活動

ア 啓発事業

・HIV検査普及週間

令和5年6月14日

・世界エイズデーにおける拡大検査

令和5年12月13日

イ 研修会等

令和5年度は実施せず。

(2)梅毒検査

梅毒検査件数(男女別・年齢別)

年齢	～ 1 9	2 0 ～ 2 9	3 0 ～ 3 9	4 0 ～ 4 9	5 0 ～	計
計	4	93	65	33	47	242

(3)肝炎ウイルス検査

H C V抗体検査件数(男女別・年齢別)

年齢	～ 1 9	2 0 ～ 2 9	3 0 ～ 3 9	4 0 ～ 4 9	5 0 ～	計
計	4	90	66	32	47	239

H B s抗原検査件数(男女別・年齢別)

年齢	～ 1 9	2 0 ～ 2 9	3 0 ～ 3 9	4 0 ～ 4 9	5 0 ～	計
計	4	90	66	32	46	238

4 その他

(1) 肝炎治療特別促進事業(インターフェロンフリー・インターフェロン・核酸アナログ製剤治療助成制度)

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

申請等総数	新規・更新	延長申請	償還払い	変更・転入	再交付・返還	取下げ
241	45	185	8	1	2	0

(2) 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

申請等総数	新規	更新	返還
2	1	1	0